

主題：  
新約正典の中のすばらしいキリスト

メッセージ 5

マルコによる福音書の最も重要な点である、キリストのパーソンのビジョン

聖書：マルコ 8:27—9:13, 13:8, 14:3-9

- I. マルコによる福音書の最も重要な点は、このビジョンです。すなわち、キリストのパーソン、また彼のすべてを含む死とすばらしい復活は、わたしたちの、全体における、すべてを含む置き換えであり、王国の実現の中で、一人の新しい人を生み出し、産出するためです——8:27—9:13：
- A. 主に従う者たちは、マルコ第1章1節から第8章26節に記録された段階（彼らの聞き、語り、見る器官のいやしを経験する）を経過した後、資格づけられて、すばらしいパーソンを見ることができました。このパーソンは宇宙の秘密、全人類に対する奥義であり、また神の永遠のエコノミーの秘密です——7:31-37, 8:14-26, 使17:23, 参照、ヨハネ1:18, ピリピ3:8, 10。
- B. イエスはキリストであると、ペテロが宣言した後、主は人の子としてのキリストと、彼の死と復活に関する神のエコノミーの奥義を、明らかに示し始めました。次に主は彼の弟子たちを、彼の変貌の山に連れて行きました。それは、神のエコノミーにおける神の願いが、すべてを含む方であるキリストによって、すべての事物とすべての人が置き換えられることであることを、彼らに見せるためです——マルコ8:27-37, 9:7-8。
- II. 命を与える霊であるキリストは、彼の死と復活を伴って、すべての事物とすべての人に置き換わります。彼はモーセに置き換わり、エリヤに置き換わり、わたしたちに置き換わります。この方は宇宙におけるすべての人、すべての事物、すべての事柄に置き換わります——I コリント15:45後半, エペソ1:23, I コリント15:28, コロサイ3:10-11：
- A. ペテロがひどく愚かな提案をして、モーセ（律法を代表する）とエリヤ（預言者を代表する）をキリストと同じ地位に置いたことは、律法と預言者をキリストと等しくし、キリストに置き換えることでした——マルコ9:4-6：
1. 神の新約エコノミーの中で、イエスは今日のモーセであって、ご自身を命の霊の法則として彼の信者たちの中に分け与えます。彼はまた今日のエリヤであって、ご自身を命の言葉として彼の信者たちの中に語り込みます——ヘブル8:10, ローマ8:2, 使徒3:22, ピリピ2:16, I ヨハネ1:1, ヨハネ6:63, 使徒5:20。
  2. 律法にしたがっていることは、外側の規定と規則という「文字」にしたがって歩くことを意味します。預言者にしたがっていることは、他の人が言うことにしたがって歩くことを意味します。キリストにしたがっていることは、わたしたちの

霊とミングリングされたその霊（ミングリングされた霊）にしたがって歩くことを意味します——Ⅱコリント3:6. ガラテヤ1:10, 2:2. Iテサロニケ2:4. ガラテヤ5:25. ペリピ3:3. ローマ1:9, 8:4.

- B. 神の新約エコノミーの中で、今やキリストが来て、わたしたちは「彼に聞く」べきであり、もはや律法と預言者に聞くべきではありません。なぜなら、律法と預言者は彼の中で、彼によって成就されたからです。「彼に聞く」とは、語る霊としての霊なるキリストが、「イエスだけ」の証しのために、わたしたちの霊の中で諸召会に言うのを聞くことです——マルコ9:7-8. Ⅱコリント13:3. マタイ10:20. エペソ5:26. 啓2:7, 1:2。
- C. 神の新約エコノミーの中で、わたしたちはイエスをひたすら見つめ（ヘブル12:2）、他のだれでもなく、「イエスだけ」（マルコ9:8）を見るべきです。「イエスだけ」であって、他のだれも新約にとどまるべきではありません（使徒9:4-5. Iコリント12:12. コロサイ3:10-11）。
- D. キリストは神の愛する方、神の喜ぶ方です。彼は、すべての人とすべての事物に置き換わる方です。ですから、彼はわたしたちの生活の中で、完全な地位を得るべきです。わたしたちの生活におけるすべてのことは、彼に委ねられるべきです。それは、わたしたちがあらゆる面でキリストを生き、キリストを成長させ、キリストを表現して、キリストを増殖させるためです——1:10-11。
- E. 神は、わたしたちが自分自身の中であるものは何も欲しません。神はただキリストだけを欲しています。自分を否むとは、その霊であるキリストに置き換えられて、わたしたちがキリストを生き、彼を大きく表現することです——マルコ8:34. ガラテヤ2:20. ローマ11:24. ペリピ1:19-21前半。
- F. 主は「祈るために山へ登って行かれた。イエスが祈っておられる時、彼の顔の様子が変わり、その衣は白く輝いた」（ルカ9:28-29）。ここでの主の模範が見せているのは、わたしたちの祈りにより、その霊がわたしたちを栄光から栄光へと造り変える過程を通して、わたしたちが栄光の神で置き換えられて、キリストの栄光の体に変貌され、同形化され得るということです（Ⅱコリント3:16, 18. ペリピ3:21, 4:6-7）。
- Ⅲ. 全世界の情勢は、新しい人を生み出すためです。主の復活の日から彼が戻って来るまでは、福音の宣べ伝えと迫害の苦難を通して、新しい人を出産する長い過程です。この迫害は、新しい人の誕生にかかわる産みの苦しみとしての「陣痛」です——マルコ13:3-8. ガラテヤ4:19:
- A. 神のエコノミーは新しい人を生み出すことであり、新しい人の中でキリストはすべての人であり、キリストはすべての人の中におり、キリストはすべてです。わたしたちが宇宙的な置き換えとしてのキリストを享受するとき、彼はわたしたちに対してすべてとなります。なぜなら、彼はご自身をもって、わたしたちに置き換わるからです——コロサイ3:10-11. ガラテヤ2:20。
- B. 「陣痛」は新約時代におけるすべての患難を指し、戦争、飢きん、地震、苦難、迫害を含みます。新しい人を出産するための陣痛は、新約の信者たちだけが主のために受けるものですが、啓示録第12章2節における産みの苦しきは、旧約と新約の神の民が歴代、受けてきたすべての苦しみを指しています——マタイ24:6-9, 21。

- C. ある意味で、子供、新しい人は、主の復活の時に生まれましたが（ヨハネ16:20-22）別の意味で、エペソ第2章と第4章に啓示されている宇宙的な新しい人は、まだ完全に生み出されていません（2:15, 4:24）。
- D. 主が再臨するとき、携え上げがあり、それは新しい人の最終の出産となります。わたしたちは、新しい人が生み出されつつある期間の終わりに生きていることを信じます——ダニエル2:28, 44-45, 8:17。
- IV. らい病の人シモンの家は、主の臨在の中で、主の臨在をもって祝宴する家です。わたしたちは、この家で描写される召会生活の中で、キリストをわたしたちの置き換えとして享受し、新しい人を生み出すことができます——マルコ14:3-9：
- A. マリアは主の言葉を通して主の死の啓示を受け、葬り（彼の死と復活を暗示する）のために、前もって彼の体に油塗りをしました。ですから、彼女は機会を捕らえて、持っていた最善のものを主の上に注いだのです。わたしたちの最善のものをもって主を愛することは、彼がすべてを含むわたしたちの置き換えであるという啓示を必要とします。
- B. わたしたちは召会生活の中で、キリストをわたしたちの置き換えとして持っています。わたしたちは召会生活の中で主によって清められたらい病の人であり、最上の愛で主を愛します。わたしたちの心には、主のための余地しかありません——参照、コロサイ1:18後半, 詩73:25-26。
- V. わたしたちの置き換えとして、変貌したキリストは、わたしたちの霊の中のすべてを含む、手順を経た、内住する、命を与える霊であり、わたしたちは彼と一つ霊になっています。わたしたちがその霊の中で、その霊によって生き、さらにこの霊を生きる時、彼はわたしたちの中で、死、復活、昇天を伴うキリストの実際となり、わたしたちの完全な、満ち満ちた享受となります。これは神が新しい人を出産する道であり、キリストの再来をもたらします——ガラテヤ5:25, ヨハネ16:13, ローマ8:16, Iコリント6:17, 参照、エペソ4:3-4前半, 23-24, コロサイ3:10-11。